

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担当	合 議

別記様式第 4 号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	平成 3 0 年 月 日
名 称	平成 30 年度社会教育委員兼公民館運営審議会委員会議（第 6 回） 兼第 9 次社会教育中期計画策定委員会		
日 時	平成 3 0 年 1 2 月 1 2 日（水） 1 8 時 0 0 分～ 1 8 時 4 5 分		
場 所	社会教育総合センター 大集会室		
出席者	委員 1 3 名 小山田、田端、中川、谷口、和田、中澤、佐川、稲毛、 北向、仲島、浅田 事務局 8 名 教育振興課長、社会教育班主幹、北川主査、谷主査、 長谷川主査、轟木主事、菱川主事		
内 容	<p>教育振興課長 進行</p> <p>稲毛委員長：本日は寒い中ご出席ありがとうございます。第 9 次中期計画も本日皆さんの意見をいただいて来週中に答申できると思います。皆さんには様々な意見をいただき立派な計画ができたと思います。11 月 26 日締切のパブリックコメントは意見がなく、本日の会議で皆さんの最終意見をいただいて完成と考えておりますので、よろしくをお願いします。</p> <p>委員長議事進行</p> <p>1 報告事項</p> <p>(1) 上川管内社会教育委員・公民館運営審議会委員合同研修会</p> <p>北向委員：10 月 2～3 日 中富良野町で開催、委員 5 名、事務局 2 名が参加しました。1 日目は管内勤続表彰、そのあと基調講演があり、上富良野の松浦正子さんの息子さんが中富良野中学校の校長で、社会教育委員をしていることから講師となり、はだしの教育について実技を交えて講演がありました。また中富良野町の郷土館と児童館を兼ねた施設を見学、放課後クラブとスクールが一緒に行われ、郷土館も管理している合理的な施設運営と感じました。2 日目はグループワークで分科会形式で開催、知らない人と意見を交換するのは、いろいろな考えを聞けて大変いいことだと感じました。来年度は幌加内町で開催ですので、皆さん参加しましょう。</p> <p>(2) 第 58 回北海道社会教育研究大会（後志大会）兼全国社会教育委員連合北海道ブロック大会</p> <p>稲毛委員長：10 月 12～13 日 ルスツ高原ホテルで開催、私と眞鍋主幹とで行ってきました。450 人ほどの参加で、1 日目は特別講演でニセコの外国人経営者の話でした。基調講演は札幌の N P O 法人子どもの未来・にじ色プレイス代表</p>		

内 容

の安田さんで子ども食堂の話でした。都会ほど子供が1人で食事をするのが多いことから、月1回100円でみんなで食事をしようという事業です。放課後事業とはまた違い興味深く聞きました。2日目は分科会で私たち2人とも「シニア世代の社会参加」提言者は赤平の女性の委員長でした。次年度は帯広開催です。

(3) 平成30年度社会教育関係事業の実施報告について

北川主査説明：3頁の社会教育関係事業実績（議案発送後に開催された事業の人数等も報告）、5頁の社会教育施設整備について説明。

稲毛委員長：北海道舞台塾ふらの事業は今年で最後ですか。

眞鍋主幹：北海道事業は10年間で見直すということですが、沿線で継続するかふらの塾も含め協議中です。

(4) 平成30年度教育委員会表彰について

北川主査説明：資料1表彰式のしおりについて説明。11月3日に表彰式を行い、文化功労賞1個人、文化奨励賞11個人2団体、スポーツ奨励賞15個人6団体が表彰されました。文化賞、スポーツ賞、スポーツ功労賞、科学技術奨励賞は該当ありませんでした。

稲毛委員長：質問等ありませんか。ほかになれば次に入ります。

2 第9次社会教育中期計画の策定について（平成31～35年度）

眞鍋主幹説明：資料2の上富良野町教育振興基本計画10か年の中で社会教育中期計画を皆さんで策定していただき、10月25日から11月26日までパブリックコメントを募集しておりましたが、0件でした。中期計画について町民の皆さんのご意見はなかったのですが、町民ポストに策定した社会教育委員さんに自分の思いを伝えてほしいといただきましたので原文をご覧いただきたいと思います。今後の予定は17日に委員長から教育長へ答申。26日教育委員会へ上程、そこで承認されましたら、正式に基本計画、社会教育では中期計画が正式に承認ということになります。

稲毛委員長：質問等ありませんか。なければこのまま答申となります。

中川委員：若干、表記について具申します。学校教育の部分では名詞「取り組み」は「取組」に統一していますので、どちらかに合せた方がいい。11, 12, 45頁にあります。また脱字が13頁「財産あり」は「財産であり」、44頁「学活動」は「学習活動」、同じページに「むけて」と「向けた」もひらがな漢字どちらかに統一された方がいい、答申前に見直された方がいいと思います。内容についてはすばらしいです。

眞鍋主幹：名詞の表記は学校教育と整合性を取りたいと思います。

稲毛委員長：ほかにご意見ありませんか。

小山田委員：先ほどのご意見は子供たちを育てる地域づくりについて意見をお持ちのようなのでお名前や連絡先は教えてもらえますか。

及川課長：意見には公表を希望しないとなっております。

小山田委員：わかりました。

稲毛委員長：ほかにご意見ありませんか。意見も出そろったようですので、来週

月曜日に答申します。

3 その他

眞鍋主幹説明：第3次上富良野町子ども読書推進計画について、社会教育中期計画と同様に策定委員を設け、昨日完成しました。パブリックコメントはなく同じ方から思いを伝えてほしいと寄せられたので委員に見ていただきました。3次も1・2次と大きな変更はありませんが、中期計画で読書においた重点を3次に反映させより推進を図るということです。

稲毛委員長：5年計画ですか。

眞鍋主幹：5年です。

稲毛委員長：ほかにご意見ありませんか。

中川委員：意見ではありませんが、学校図書館法が変わり学校の図書室の表記がなくなり図書館になっています。専任の司書は必須でなく、上中にはいません。

北川主査：配布物で読書感想文・感想画コンクール入選作品集ができましたのでご覧ください。次回の会議を1月29日火曜日6時からを予定しております。また改めてご案内いたします。会議はこの後は1・3月の2回、例年の会議に戻り1年の総括をよろしく願いいたします。また成人式のご案内ハガキを同封させていただきますので、出欠の返事もお願いいたします。

稲毛委員長：全体を通して感想・質問等ありませんか。

(各委員特に無し)

仲島副部長挨拶：会議お疲れ様でした。パブコメの意見はないのいいか、言っても変わらないから言わないのか、会議も同じ発信しなければ何も変わらないので、とにかく意見を出してはどうか。高P連でハローワークの調査で3年で転職が50%超え、ブラック企業なら仕方ないが努力しても出来ない、自分の考えの範疇の努力や、方法を知らないことがあり、たくさんのアプローチの方法を選択できるよう大人は助言してほしい。本日はお疲れ様でした。

内 容